

社団法人 日本吹奏楽指導者協会（JBA）

平成22年度 事業報告

（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

1 吹奏楽教育に関する講習会・研修会等の開催

(1) 第29回吹奏楽ゼミナール

趣 旨：吹奏楽界において、現在第一線で活躍している指導者を講師に迎え、初級から上級まで各受講者に適したコースを設定し、演奏技術と音楽的表現力の向上及び音楽性の一層の充実を目的としたゼミナールである。また現在、学校教育において、カリキュラムの編成上手薄となっているバンド指導法についての勉強を補う形で、実践的に吹奏楽指導者の育成を図っている。

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後 援：文部科学省、洗足学園音楽大学、社団法人全日本吹奏楽連盟、
神奈川県吹奏楽連盟、

協 力：洗足学園音楽大学学生モデルバンド

コース内容：上級・中級Ⅰ・中級Ⅱ・入門コースの4コース

講座内容：リハーサルクリニック・指揮法・合奏指導法・編曲法・運営法・
悩み相談など

講 師：秋山紀夫、井上 学、宇野浩之、紙谷一衛、川本統脩、崎田俊治、
汐澤安彦、杉本幸一、高山直也、田中 賢、野中図洋和、馬場正英、
藤田玄播・八木澤教司、小林万里子、安達多香子、利根川正子

受 講 費：上級コース 29,400円（JBA会員19,950円）
（特別講座1講座 4,200円）

中級コースⅠ 29,400円（JBA会員19,950円）

中級コースⅡ 29,400円（JBA会員19,950円）

入門コース 29,400円（JBA会員19,950円）

[実施状況]

開 催 日：平成22年12月28日（火）～30日（木）

場 所：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

参加人数：156名（内訳）上級 17名、中級Ⅰ 39名、中級Ⅱ 45名、
入門 55名

結 果：今回も文部科学省を始めとして、各団体の後援も受けることができ、このゼミナールの地位・役割の重要性が改めて認められたといえる。

講座は、我が国吹奏楽界の第一線で活躍されている講師陣を迎え、受講生のニーズに合致させるよう、現場に直結する理論や実技などをわかりやすく、かつ実践的に取り入れて実施した。なお、本年は、学生リーダーコースを取りやめ、指導者のためのゼミナールとして開催した。

特に、①モデルバンドとして例年ご協力をいただいている洗足学園音楽大学学生モデルバンド及び法政大学第二高校吹奏楽部の協力を得て、実際にバンドをトレーニングする方法等についての講習、②今回で3年目となる人気若手作曲家による自作の曲についての解説を行う講座（今回は八木澤教司氏が担当）及び③紙谷一衛先生（関東甲信越支部長）による講演「吹奏楽指導者への提言：人を魅了する演奏」も導入した。156名の吹奏楽指導者が全国各地から参加し、教育現場で直面している指導上の悩みや指揮法及び合奏指導法等の技術的な問題を解決しようと、熱いまなざしで講義や実技に取り組み、会場は終始熱気にあふれ大盛況のうちに終了した。

ゼミナールの成功は、JBA関係各位及び洗足学園音楽大学及び法政大学第二高校吹奏楽部の全面的なご支援によるところであり、改めて心から感謝致します。

（2）指揮法講習会

趣 旨：斎藤秀雄著『指揮法教程』を主教材として、学校、企業、あるいは一般社会で吹奏楽団を指導しているバンドディレクターを対象とした講習会である。指揮の理論と実習を柱とした内容で、入門から高度な表現に至る過程を体系的かつ実践的に行う講習会として評価されている。

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

協 力：財団法人日本音楽財団

講 師：汐澤安彦、紙谷一衛、川本統脩、濱津清仁、野中囃洋和、
小林万里子、清野香子、利根川正子（延11名）

[開催状況]

開催日	場 所	受講者数
①平成22年11月13日(土)	愛知県北名古屋市 名古屋芸術大学	19名
②平成22年11月14日(日)	山形県酒田市 酒田市希望ホール	10名
③平成22年12月19日(日)	埼玉県朝霞市 朝霞市立朝霞第一中学校	12名
④平成23年 1月29日(土)	奈良県生駒市 生駒北コミュニティセンター-ISTAはばたき	29名
⑤平成23年 2月 5日(土)	熊本県熊本市 熊本県立劇場	21名
⑥平成23年 3月 6日(日)	北海道函館市 函館市芸術ホール	16名
受講者合計		107名
参加モデルバンド		150名

内 容：1. 吹奏楽指導者として必要な指揮法について、斎藤秀雄著の「指揮法教程」を主材とするとともに、吹奏楽曲を題材として指揮の講義と実技レッスンを行った。

2. レッソンは、ピアノ伴奏者又はモデルバンドを指揮する方式で、実践的かつ直接的に講習した。

3. 各受講者が本講習会での成果をもって地域の吹奏楽指導者にそのノウハウを伝達出来るよう指導法についても講習した。
4. ゼミナール形式でのディスカッションによる指揮指導法について質疑応答を行った。

成 果：指揮法の基礎と応用について、我が国第一線で活躍する指揮者・指導者を講師として派遣し、ピアノ伴奏又はモデルバンドを中心に実践に役立つ講習会により、極めて大きな教育成果が得られた。特に、徹底した基本指揮法の習得と各種の楽曲を用いてピアノ伴奏やモデルバンドを指揮する実技は、受講者にとって手慣れたバンドを指揮・指導してきた受講者にとっては貴重な体験であり、講師の的確な指導のもと、大きな成果が得られた。

- 1 指揮法指導者の少ない地方における不足を補い、我が国の第一線で活躍する指揮者による個別指導を行うことにより、個人の欠点の修正とより良い指揮法を普及することができた。
- 2 独学の難しい指揮法を、質の高い講習を受けることにより、幅広く指導者を育成する講習が実施できた。
- 3 種々の吹奏楽曲やクラシカルな名曲を教材としてモデルバンド又はピアノ伴奏を指揮し、実践的なバンド指導法を体験することにより、指揮者と演奏者のコミュニケーションの取り方、音楽表現の伝え方等を体得させることができた。

なお、参加者からは、「普段はなかなか受けることの出来ない著名な指揮者の先生から直接指導を受けることが出来て感激した」、「もっと多くの機会を設けて欲しい」、「今後の現場指導に生かしたい」などの意見が多く寄せられた。また、財団法人日本音楽財団が本講習会を助成してくださることに対し、参加者からは深い感謝の声が寄せられた。

2 吹奏楽教育に資する指導者の資格認定及び吹奏楽器演奏技能の検定

(1) 第25回吹奏楽指導者資格認定試験

目 的：吹奏楽指導者の知識及び技能を客観的に評価することにより、吹奏楽指導者としての社会的資格を認定するとともに、指導者がさらに向上心をもって自己啓発に努めるように企画されている。認定資格を1級から3級に区分し、筆記試験及び実技試験により判定、合格者にはJBAから認定証を交付する。

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

後 援：洗足学園音楽大学

協 力：洗足学園音楽大学学生モデルバンド

受験内容：理論筆記試験・編曲作品審査・合奏実技試験・指揮実技試験・小論文

* 1級及び2級認定試験は、全5科目を受験して総合合格した者についてJBAが認定する。毎年1科目ずつの受験も可能で、最終的に総合合格した時点で認定する。3級認定は、理論筆記試験、指揮実技試験及び小論文のみ。

審査員：秋山紀夫、藤田玄播、野中凶洋和、川本統脩、井上 学、阿部勘一

受験料：1級～3級毎に各受験科目別に1,050円～10,500円

開催日：平成22年12月30日（木）

場 所：洗足学園音楽大学（神奈川県川崎市）

[結 果]

受験者数：合計 47名（内訳：1級 3名、2級 14名、3級 30名）

合格者数：合計 16名（内訳：1級 0名、2級 1名、3級 15名）

合格者氏名：＜2級＞ 松井 瞳

＜3級＞ 高田正臣、佐々木聡、岩佐真由実、今野幸恵、伊藤慎悟、
斎藤友快、鳴海健彦、谷口貴子、萩 武仁、鎌田 直、
田中沙季、奥川慶一、山出智子、山出智士、高橋芳徳

（2）吹奏楽器（管・打楽器）演奏技能検定

趣旨と目的：主として中・高校生を対象とした吹奏楽器の演奏技能検定で、1級から6級（初級）まであり、各々の級に応じて実技（課題曲）と学科（楽典）の試験を行う。さらに、この検定は受験者自ら目標を決めて課題に挑戦することにより自分を鍛え、音楽の知識や技術を身につけて、社会人となっても音楽を心の糧として豊かな人生を送れるように企画されたものである。しかし、今年度は検定方法の見直しを図るため、昨年度に引き続きこの事業を休止とした。

3 吹奏楽教育に関する国際交流の実施

◇第16回APBDA（アジア太平洋吹奏楽指導者協会）香港大会への参加

趣 旨：ユネスコからも認められている吹奏楽の世界的組織である、WASBE（世界吹奏楽会議）の会員であるアジア・オセアニア参加国10ヶ国が集まりAPBDA（アジア太平洋吹奏楽指導者協会）を設立し活動している。活動内容は吹奏楽に関する研究発表・講演・コンサート等が企画され、アジア圏内に於ける吹奏楽のレベル向上及び吹奏楽に携わる人々の人的交流を図っている。この会議は1年おきにアジア各国にて開催されている。

開催時期：平成22年7月25日～28日

開催地：香港

会 場：香港クイーンエリザベススタジアム・星光大道

参加者：秋山紀夫名誉会長、三浦徹常務理事、斎藤好司会員

日本からのバンド出場：なし

参加演奏団体：合計33団体

今後の予定等：2012年度 シンガポール

時期 2012年7月22日～25日

2014年度 韓国（済州島）

4 吹奏楽生涯学習及び社会教育事業の推進

◇社会人バンドフォーラム

趣 旨：21世紀は社会人バンドが吹奏楽界における演奏活動の中核となると考えられており、日本各地で活動している社会人バンドの育成・レベル向上を目標に企画されたフォーラムである。今年度はJBA通常総会の当日に、同じ会場で開催した。

内 容：基調講演「音楽の力を捨てないで」

講演 JBA関東甲信越支部長 紙谷一衛 氏

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

開 催 日：平成22年6月27日（日）

場 所：加賀観光ホテル（石川県加賀市）

参加人数：JBA会員中総会出席者約60名

5 吹奏楽教育に関する出版物の刊行

(1) 『吹奏楽紀要』（論文集）第16号の発刊

趣 旨：協会会員相互の研さんのため、また、吹奏楽に関心を持つ社会人、あるいは後輩育成のために、会員各自の考えや経験・調査研究したことを研究論文集としてまとめて年1回発刊する。今年度は6月に第16号を発刊した。

内 容：「日本のスクールバンドの源流～明治期の学校吹奏楽」

著者：都賀城太郎

「民俗芸能としてのラップ文化

——「音楽のまち・浜松」のもうひとつの音楽——」

著者：奥中康人

(2) 機関誌『ウインド・フォーラム』の発行

趣 旨：協会の会員同志の情報交換及び活動計画とその状況報告等、年3回程度機関誌を発行して、協会活動の活性化と会員の意識高揚を図る。今年度は第92号（平成22年5月）及び第93号（平成22年9月）の2回発行した。

内 容：第92号＝各事業報告／JBAの新定款案原案について／平成22年度
北陸支部総会報告／名著紹介／会員追悼文／平成22年度総
会案内ほか

第93号＝会長あいさつ／会長退任にあたって／平成22年度総会報告
／平成21年度収支報告・監査報告／理事会・支部長会議報
告／平成22年度各支部総会報告／各事業報告・計画／平成
23年度総会案内ほか

6 その他この法人の目的を達成する為に必要な事業

(1) 日本吹奏楽発祥百四十一年記念演奏会

趣 旨：明治2年に横浜の本牧山妙香寺において、薩摩藩士32名に対しイギリス陸軍軍楽隊長J.W.フェントンが指導したのが日本吹奏楽の発祥である。平成元年9月15日、日本吹奏楽指導者協会が中心となって、吹奏楽界から広く浄財を集め、その地に建立したのが「日本吹奏楽発祥の地」の碑である。これを記念して当協会が主催して、この演奏会を毎年実施している。

開 催 日：平成22年10月11日（祝・月）

場 所：本牧山 妙香寺（神奈川県横浜市）

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

主 管：社団法人日本吹奏楽指導者協会 東京神奈川部会

共 催：神奈川県吹奏楽連盟、本牧山妙香寺

協 賛：財団法人音楽文化創造

後 援：神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市市民局、横浜商工会議所、朝日新聞横浜総局、産経新聞横浜総局、日刊工業新聞社横浜総局、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、東京新聞横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、テレビ神奈川

参 加：出演者 横浜市消防音楽隊 35名

横浜市立横浜商業高等学校吹奏楽部 50名

参加者 JBA役員・会員 20名

観 客 約350名 合計 455名

実施状況：昨年は、吹奏楽発祥140年という節目の記念演奏会で大変多くのお客様においでいただき、素晴らしい演奏会が出来ました。

今年は、汗ばむような好天にも恵まれて、早い時間から一般のお客様が大勢いらっしゃいました。

第22回目となる今年の出演者には地元、横浜市消防音楽隊（大西稔彦隊長）をお迎えし、式典（記念碑への献花）と演奏会をお願いしました。

さらには、横浜市立横浜商業高等学校吹奏楽部（顧問 足立昭夫先生）の

出演もあって、若さあふれる演奏を6曲ほど披露してくれ、横浜市消防音楽隊も9曲ほど演奏してくださり、とても素晴らしい演奏会が出来ました。

そしてJBA会員の参加は、昨年ほどではなかったものの、澤野会長をはじめ、野中、牟田両副会長ほか役員や会員にもご参加いただき、有意義な記念演奏会となりました。

(2) 第15回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテストの開催

目 的：管打楽器の演奏に携わる青少年の資質及び技術の向上を図り、併せて吹奏楽界全般の技術向上意欲を啓蒙することを目的とする。

[ソロコンテスト本選開催状況]

平成23年3月25日(金)アクトシティ浜松 中ホール(静岡県浜松市)において開催を予定していた第15回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテストは、以下の理由により中止となった。なお、出場予定者に対しては、賞状(優秀賞)、大会記念バッジ及びプログラムを送付することとした。

中止理由：3月11日に発生した東日本震災により、広範囲にわたって甚大な被害が出ました。日々、被災地の深刻な情報が伝わる状況の中、3月15日には静岡県東部を震源とする大きな地震も起きました。余震の恐れや交通網の混乱、福島原子力発電所の事故、資源・物資の不足等、多方面にわたり悪影響が出るとともに当面不安定な状況が続くと判断せざるを得ません。このような予断を許さない現状において、本大会事務局では慎重に情報の収集および開催を検討してきましたが、被災した地域をはじめとした全国各地からの参加による安全面への懸念を考慮し、3月18日、同大会実行委員会において全会一致で大会の中止を決定しました。

[ソロコンテスト各支部予選実施状況]

概 要：各支部の特性により、それぞれ選抜方法は異なっており、他の団体の実施するコンテストから上位者を推薦する場合もある。推薦者選抜のための各支部実施状況は次のとおり。

支 部 名	実施状況
北海道支部	第1回北海道大会 開催日 平成22年11月28日(日) 会 場 ヤマハアベニュー101スタジオ【スタジオフィールズ】
東北支部	第19回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東北大会 開催日 平成23年2月27日(日) 会 場 仙台市広瀬北文化センター

- 関東甲信越 第9回中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト
支部 開催日 平成23年2月27日(日)
会 場 上野学園大学 石橋メモリアルホール
- 東海支部 第15回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト東海大会
開催日 平成23年2月11日(金)
会 場 名古屋芸術大学音楽学部東キャンパス
- 北陸支部 第27回管楽器ソロコンテスト
(金沢市「音楽コンクール」実行委員会／(社)日本吹奏楽指導者協会石川県部会主催)
開催日 平成22年11月21日(日)
会 場 アートシアターいしかわ
第27回加賀市管楽器等ソロコンテスト(加賀市音楽協会主催)
開催日 平成22年12月11日(土)
会 場 加賀市文化会館
- 関西支部 第15回関西中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト
開催日 平成23年2月26日(土)
会 場 大阪音楽大学 ザ・カレッジ・オペラハウス
- 中国支部 第27回中国ユース音楽コンクール(中国新聞社主催)
開催日 平成22年10月23日(土)・24日(日)
会 場 中国新聞ビル7階ホール
- 四国支部 全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト第13回四国支部大会
開催日 平成23年2月26日(土)
会 場 松山東雲女子大学・短期大学
- 九州支部 第7回JBAソロコンテスト九州大会
開催日 平成23年2月20日(日)
会 場 宇城市松橋総合体育文化センター

(3) 吹奏楽楽曲開発(下谷奨励賞)

趣 旨：昭和50年度より毎年、JBA顧問でもある株式会社千修代表取締役会長 下谷隆之氏のご厚意により実施してきた吹奏楽作品・新曲「下谷賞」は、平成19年度から作品募集による審査を取り止め、「“21世紀の吹奏楽”実行委員会」と連携し、同委員会が主催する“響宴”に選ばれた作品の中から、優れた作品に対して「下谷奨励賞」を贈っている。昨年度から最終選考の候補曲のうち入選以外は佳作とし、表彰状を贈呈することとした。

選考方法：平成22年3月22日に開催された第13回“響宴”に選ばれて演奏された中から4作品(うち2作品を下谷奨励賞、他2作品を佳作)を選考し、受賞作品の発表は4月中旬に発表した。

表彰：平成22年度JBA総会時に表彰、賞金各10万円を贈呈した。

(ただし、佳作作品は表彰のみ)

審査員：秋山紀夫・野中図洋和・小澤俊朗

結果：【下谷奨励賞】

作曲者

① 研響（こだま）する時の峡谷～吹奏楽のための交唱的序曲 中橋 愛生

② 「カプレーティとモンテッキ」～「ロメオとジュリエット」その愛と死～ 天野 正道

【佳作】

作曲者

① 「優位な曲線」～ヴァシリー・カンディンスキーに寄せて 八木澤教司

② 清流賛歌 高橋 伸哉

(4) 吹奏楽学会の開催

趣 旨：毎年総会開催時に、会員の研さんに資するため「吹奏楽学会」として、
講演会あるいは研究発表会を開催している。

内 容：「軽騎兵序曲」を題材とした音楽表現について

講師 JBA関東甲信越支部長 紙谷一衛 氏

モデルバンド 小松市民吹奏楽団

主 催：社団法人日本吹奏楽指導者協会

開 催 日：平成22年6月27日（日）

場 所：加賀観光ホテル（石川県加賀市）

参 加 者：JBA会員中総会出席者約60名

(5) 後援・協賛事業

ある演奏会、研修会等の事業に対し、主催者より後援または協賛の申請があった場合、それが吹奏楽の発展につながる有意義な事業であると認めるときはこれを認可している。なお、平成22年度に後援を認可した事業は次のとおり。

① 東関東吹奏楽団 第3回定期演奏会

主 催 東関東吹奏楽団

日 時 平成22年4月18日（日）

場 所 アミュゼ柏クリスタルホール（千葉県柏市）

② 2010年度日本吹奏楽指導者クリニック

主 催 日本バンドクリニック委員会

日 時 平成22年5月14日（金）～16日（日）

場 所 アクトシティ浜松（静岡県浜松市）

③ 横浜開港祭 チャリティー吹奏楽コンサート ザブラスクルーズ2010

主 催 横浜開港祭 ザブラスクルーズ実行委員会

日 時 平成22年6月6日（日）

場 所 横浜みなとみらい大ホール（神奈川県横浜市）

- ④国立音楽大学吹奏楽ワークショップ
 主 催 国立音楽大学
 日 時 平成22年6月19日(土)・20日(日)
 場 所 国立音楽大学(東京都立川市)
- ⑤東北プラスキャンプ2010
 主 催 東北プラスキャンプ実行委員会
 日 時 平成22年8月20日(金)～22日(日)
 場 所 岩手県立南青少年の家(岩手県胆沢郡)
- ⑥スティーブン・ミード&外園祥一郎 ユーフォニアム デュオ・リサイタル・ツアー
 主 催 ビュッフェ・クラボン株式会社
 日時・場所等
 平成22年9月23日(祝・木) 上野学園石橋メモリアルホール(東京都台東区)
 平成22年9月24日(金) しらかわホール(愛知県名古屋市)
 平成22年9月25日(土) いずみホール(大阪府大阪市)
- ⑦スティーブン・ミード&外園祥一郎 ユーフォニアム デュオ・リサイタル・ツアー
 主 催 クレモナ楽器
 日 時 平成22年9月26日(日)
 場 所 福岡銀行本店大ホール(福岡県福岡市)
- ⑧東京佼成ウインドオーケストラ
 主 催 佼成文化協会・東京佼成ウインドオーケストラ
 日時・場所等
 第106回定期演奏会 平成22年10月28日(木) 東京芸術劇場(東京都豊島区)
 第107回定期演奏会 平成22年12月9日(木) 東京芸術劇場(東京都豊島区)
 第108回定期演奏会 平成23年2月9日(水) 東京芸術劇場(東京都豊島区)
- ⑨第12回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜
 主 催 日本高等学校吹奏楽連盟
 日 時 平成22年11月6日(土)～7日(日)
 場 所 本大会：横浜みなとみらい大ホール(神奈川県横浜市)
 プロムナードコンサート：クイーンズスクエア内 クイーンズサークル
 (神奈川県横浜市)
- ⑩ジャパン・ユーフォニアム・テューバ・フェスティバル 2010
 主 催 日本ユーフォニアム・テューバ協会
 日 時 平成22年11月21日(日)
 場 所 ティアラこうとう(東京都江東区)
- ⑪荒木玉緒ユーフォニアム・リサイタル
 主 催 荒木玉緒ユーフォニアム・リサイタル実行委員会
 日時・場所等
 静岡公演 平成23年1月15日(土) 浜松市福祉交流センター(静岡県浜松市)

広島公演 平成23年1月23日(日) 広島県民文化センターふくやま(広島県広島市)
秋田公演 平成23年1月29日(土) 西目公民館シーガル(秋田県秋田県由利本荘市)
九州公演 平成23年2月6日(日) 熊本市男女共同参画センターはあもにい(熊本県熊本市)
東京本公演 平成23年2月11日(祝・金) 東京文化会館小ホール(東京都台東区)

⑫オーケストラ・アンサンブル金沢 横浜公演

主 催 オーケストラ・アンサンブル金沢
日 時 平成23年3月15日(火)
場 所 横浜みなとみらいホール(神奈川県横浜市)

(6) JBA人材バンク

社団法人日本吹奏楽指導者協会は、吹奏楽指導者である会員が、各自の専門分野において知識と経験を生かして青少年の音楽教育、情操教育のため力を尽くし、次世代の指導者の識能向上に資するとともに、生涯にわたって音楽を愛好する生涯学習の基盤を醸成するため、JBA人材バンクを設置している。なお、登録者を人材バンク委員会の審査により、本部ホームページで公開する。

(7) バンドの日

趣旨と目的：一般化した「バンド」(楽器演奏)文化を社会に広く正しく認知させることにより、将来への基盤を確かなものにするためにJBAが制定した「バンドの日(11月3日)」に関する啓発活動を行っている。